

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	むぎのご児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	77	(回答者数) 68
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供：発達に合わせた活動内容、季節に合わせた活動等。また、職員が適切な関わりを持てるよう研修も含め、取り組みを充実させています。	感染症等に留意しながらも、季節の活動を多く取り入れています（海水浴・円山公園散策・冬はそり滑りの他スケート・雪まつり見学等）。また、アンダーマネージメントとして、助けを求める練習・助けに入る練習・落ち着く練習を週1回行なって、子どもに適切に関わる事が出来るよう取り組んでいます。	季節の活動等、前以て計画を立てるようにして実施していたので、継続して、計画的に実施出来るよう努めます。 また、保護者の方がより様々な活動を行っていると実感出来るよう工夫します。活動の報告をお便り等を通じて行なったり、親子での参加を呼び掛ける等していきます。
2	業務改善：研修の機会を多く持ち、職員の育成を充実させています。また、意見を適切に聞く機会を作り、業務の改善に反映しています。	業務改善→1年目職員週1回、2年目以上職員は月1回、SVを実施し、職員の困り感や、頑張っている事をキャッチしています。また、年数別や部門、役職等で割り振った研修も多く設けて、学ぶ機会を充実させています。	SVの実施や研修の機会を継続し、内外両方の研修に多くの職員が参加出来るよう年間で設定していきます。
3	環境体制の整備：環境設定や構造化について、定期的に取り組んでいます。	環境整備→年2回、行事の中で園舎や園内を綺麗にしています。また、年1回、カーペンターウィークとして、環境整備を行なう期間を設けています。マネージャーの会議の中でも、修繕箇所がないかチェックし、早急に対応できるように取り組んでいます。	引き続き、こまめな環境整備を行ないます。構造化では、うまく行っていない事があればこまめに改善していきます。 子ども達がわかりやすく、清潔な環境を常に心掛け、保護者の方にも気持ちよく登園してもらえるよう継続して取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関や保護者との連携	関係機関との連携は充実しているが、地域の幼稚園・保育園・児童発達支援事業との連携の機会をより多く持つと、地域支援の充実につながると感じています。 保護者と子どもの状況を伝え合う中で、グループカウンセリングや学習会により参加出来るよう誘っていく事で、これまで以上に家族の困り感をキャッチし、必要な支援に繋がっていきたくと考えています。 怪我や登園時の様子の連絡等、こまめに行なっていますが、保護者によってはもう少し連絡が欲しいと考えている様子です。	幼稚園・保育園に積極的に連携出来るよう働き掛ける。中核機能について知ってもらう事も含めて、やり取りしていきます。 保護者がグループカウンセリングや学習会に参加出来るよう、クラス担任等から前以て誘ってもらえるよう声掛けをしていきます。その中で困り感をよりキャッチするよう働き掛けます。 保護者との連絡・情報共有をよりこまめに行なえるよう、職員全体で心掛けていく事が重要です。